

## 地域観光シンポジウム ～地域観光産業を高生産性で高所得産業に！～

■日時：2023年10月16日（月）14:00～17:00（開場:13:30）

■会場：ベルサール御成門タワー3階  
およびオンライン配信（Zoomウェビナー）

※会場参加につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から  
人数を制限しますので、ご希望に添えない場合もございます。

### ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

一般財団法人 運輸総合研究所の業務につきましては、平素からの格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「地域観光シンポジウム」を開催することと致しましたので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご臨席いただきたくご案内申し上げます。

敬具

一般財団法人 運輸総合研究所 会長 宿利 正史

### 趣旨

○観光産業は、長期的成長を見込める日本経済を支えるリーディング産業で、基幹産業たりうる産業ですが、その労働生産性は他産業分野と比較しても低く、賃金水準も低い状況にあります。

○本シンポジウムは、これまでの検討成果としての提言（7月31日公表）について報告を行うとともに、我が国が将来的にも持続ある発展を維持するため、観光先進諸外国から大きく遅れる我が国の観光産業の現状やかつての大量生産・消費・販売方式の他律的な経営から抜け切れていない観光産業界の現状について、関係者が明確に認識を共有した上で、地域観光産業を高生産性・高所得産業とするための方策を考えることを目的に実施します。

○主なSDGs関連項目

8

働きがいも  
経済成長も



9

産業と技術革新の  
基盤をつくらう



12

つくる責任  
つかう責任



### お申込み

下記のURLよりお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/symposium231016>

（来場申込期限：10月12日（木）まで）オンライン視聴は直前まで受け付けております。

※お申し込みをいただいた方には、後日視聴用URLをご送付いたします。



お問い合わせ：

一般財団法人 運輸総合研究所（担当：矢内、菅井）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD神谷町ビル）

TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8401

E-mail：collo@jttri.or.jp HP：<https://www.jttri.or.jp/>

## 地域観光シンポジウム ～地域観光産業を高生産性で高所得産業に！～

### プログラム

- 主 催：一般財団法人 運輸総合研究所
- 日 時：2023年10月16日（月）14:00～17:00（開場:13:30）
- 会 場：ベルサール御成門タワー3階 および オンライン配信（Zoomウェビナー）  
※講師の許可が取れ次第、収録映像を公開する予定です。
- 参加費：無料
- その他：会場内での撮影・録音は禁止させていただきます。

注) プログラムは変更になる可能性があります。

【開会挨拶】 **宿利 正史** 運輸総合研究所 会長

【基調講演】 **原 忠之** セントラルフロリダ大学ローゼンホスピタリティ経営学部 テニユア付准教授

### 【パネルディスカッション】

コーディネーター： **山内 弘隆** 武蔵野大学経営学部特任教授、一橋大学名誉教授、  
運輸総合研究所 研究アドバイザー

パネリスト： **富山 和彦** 株式会社 日本共創プラットフォーム（JPiX） 代表取締役社長 \*ビデオメッセージ

**西野 和美** 一橋大学大学院経営管理研究科 教授

**原 忠之** セントラルフロリダ大学ローゼンホスピタリティ経営学部 テニユア付准教授

**沢登 次彦** 株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター センター長

**山田 雄一** 公益財団法人日本交通公社 理事・観光研究部長

**城福 健陽** 元京都府副知事、運輸総合研究所特任研究員

【閉会挨拶】 **佐藤 善信** 運輸総合研究所 理事長

### 会場

ベルサール御成門タワー 3階  
 「御成門駅」A3b出口直結（三田線）  
 「大門駅」A6出口徒歩6分（大江戸線・浅草線）  
 「浜松町駅」北口徒歩10分（JR線）  
 「モノレール浜松町駅」北口徒歩11分（東京モノレール）  
 〒105-0011東京都港区芝公園1-1-1 住友不動産御成門タワー3F・4F ベルサール御成門タワー  
 ※近隣には「ベルサール御成門駅前」がございます。お間違えのないようお気をつけください。  
[https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shinagawa/bs\\_onarimontower/access/](https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shinagawa/bs_onarimontower/access/)



## 登壇者のご紹介


**基調講演「米国における観光産業の高生産性化・高所得化の取組」**
**原 忠之** セントラルフロリダ大学ローゼンホスピタリティ経営学部 テニユア付准教授

## &lt;略歴&gt;

上智大学法学部法律学科卒業。日本興業銀行、外務省を経て、米国コーネル大学ホテル経営学部博士号取得。他にホテル経営、経営、地域科学の3修士号を米英の大学で取得。米国観光ホスピタリティ経営分野で正規教員職、テニユア（研究者終身身分保障）を持つ唯一の日本人。ローザンヌホテルスクール大学院講師、早稲田大学国際教養学部、商学部大学院、客員准教授、山口大学国際総合科学部立上げ支援・客員教授、京都大学経営大学院観光MBA立上げ支援・特任教授、一橋大学経営大学院ホスピタリティMBA立上げ支援・特任教授、広島大学総合科学部客員教授を歴任。UNWTO観光サテライト勘定公式コンサルタント、国連UNESCO統計局文化サテライト勘定研究員、国連ICAO民間航空機構、航空サテライト勘定コンサルタント。その他観光庁、内閣府、文化庁の各種委員会委員複数歴任・兼任中。専門分野・研究テーマは観光産業・文化産業の経済効果測定と世界基準策定。観光計画と観光税制度。ホスピタリティ産業人材・経営者育成。代表的な著書は、「米国観光立地事例より展望する日本の観光立国・地域づくりへの道標と地域活性化への試案」観光科学研究 (8), 33-42, 2015-01-31 (本保芳明教授 退職記念号) 首都大学東京 大学院 他。


**コーディネーター 山内 弘隆** 武蔵野大学経営学部特任教授、一橋大学名誉教授、  
 運輸総合研究所 研究アドバイザー

## &lt;略歴&gt;

1985年、慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得の上退学。中京大学商学部専任講師、経済学部専任講師、一橋大学大学院商学研究科教授、一橋大学大学院商学研究科科長兼商学部長を歴任し、2019年より一橋大学名誉教授、武蔵野大学経営学部特任教授。専門領域は交通経済論、公共経済学、公益事業論、規制の経済学。政府関連委員として内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省社会資本整備審議会臨時委員等を歴任したほか、現在、資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会委員、国土交通省交通政策審議会委員、総務省情報通信審議会専門委員、内閣官房郵政民営化委員会委員長等を務める。2016年から2023年、一般財団法人運輸総合研究所所長を務めた。


**パネリスト 富山 和彦** 株式会社日本共創プラットフォーム (JPiX) 代表取締役社長

## &lt;略歴&gt;

1985年 東京大学法学部卒業  
 1992年 スタンフォード大学経営学修士(MBA)  
 ポストンコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て、2003年 産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。解散後、2007年 経営共創基盤 (IGPI) を設立し代表取締役CEO就任。2020年10月よりIGPIグループ会長。2020年 日本共創プラットフォーム (JPiX) を設立し代表取締役社長就任。  
 パナソニック社外取締役。日本取締役協会会長。内閣官房新しい資本主義実現会議有識者構成員、内閣府税制調査会特別委員、金融庁スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議委員、国土交通省インフラメンテナンス国民会議会長、他政府関連委員多数。主著に『コーポレート・トランスフォーメーション 日本の会社をつくり変える』(文藝春秋 2020年) 『不連続な変化の時代』を生き抜くリーダーの「挫折力」(PHP研究所 2021年) 『なぜローカル経済から日本は甦るのか G&Lの経済成長戦略』(PHP研究所 2014年) 他。  
 司法試験合格 (1984年)

## 登壇者のご紹介


**パネリスト 西野 和美** 一橋大学大学院経営管理研究科 教授

## &lt;略歴&gt;

一橋大学商学部卒業。富士フィルム（株）勤務を経て、2001年一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位修得退学。2002年一橋大学博士（商学）。東京理科大学経営学部経営学科専任講師、イノベーション研究科（現 経営学研究科）技術経営専攻准教授を経て、2017年一橋大学大学院商学研究科准教授、2022年より現職。

専門領域は、経営戦略、技術経営、ビジネスモデル。

技術を軸とした経営のあり方に関心を持ち、現場に足を運び、関係者から聞き取りを重ねて作成する事例研究を中心に、定性的な調査研究を行っている。

著書に『自走するビジネスモデル』、『情報資源の経営戦略：SNS時代の競争優位』（いずれも日経BPマーケティング）などがある。


**パネリスト 沢登 次彦** 株式会社リクルートじゃらんリサーチセンター センター長

## &lt;略歴&gt;

じゃらんリサーチセンター長、とりまかし編集長。

1993年3月明治大学農学部農学科卒業。

1993年4月株式会社リクルート入社。

教育機関広報事業部を経て2003年4月に国内旅行事業部へ。

関東近郊観光地のエリアプロデューサーとして地域活性に携わる。

2007年4月より現職。

観光庁を始め中央省庁や地方自治体の各種審議会委員、講演・研修等を務める。


**パネリスト 山田 雄一** 公益財団法人日本交通公社 理事・観光研究部長

## &lt;略歴&gt;

埼玉県生まれ。

1991年 筑波大学第3学群社会工学類卒業

1993年 筑波大学大学院環境科学研究科修了

1993年 三井建設株式会社（現：三井住友建設株式会社）入社

1998年 財団法人日本交通公社（現：公益財団法人日本交通公社）

2009年 米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティ・マネジメント学部にて客員研究員

2014年 筑波大学博士後期課程社会システムマネジメントにて博士号（社会工学）を取得

2014年 経済産業省のサービス政策部門にて調査企画官を2年拝命

現在は、公益財団法人日本交通公社で 理事／主席研究員／観光研究部長／たびの図書館館長 観光振興に関わる講演、講義、論文、著書多数。主たる研究テーマは観光地ブランディング。


**パネリスト 城福 健陽** 元京都府副知事、運輸総合研究所特任研究員

## &lt;略歴&gt;

1988年3月京都大学経済学部卒業。運輸省入省以降、JNTO（ニューヨーク事務所）次長、経済産業省商務情報政策局参事官（観光・集客サービス）、国土交通省総合政策局交通支援課長、航空局参事官（近畿圏・中部圏空港担当）、総合政策局公共交通政策部長、海事局次長、運輸安全委員会事務局長等。2015年～2018年京都府副知事。2023年5月より現職。

## 【専門分野】

地域交通政策(需給調整規制廃止から地域公共交通活性化・再生法、地域最適な地域交通展開、協働・連携による地域交通展開と独禁法、補助制度、日本版MaaS)

鉄道(地域・都市鉄道)

航空(関空・伊丹コンセッションと神戸空港との3空港一体運用)

観光(ラグジュアリー・トラベル・マーケット、地域連携DMO、地域・地域資源ブランディング)

サービス産業(JCSI(日本版顧客満足度指数)、ディスプレイ産業、展示会産業)